

女子コスチュームについて

JBBF 女子コスチューム一覧表

2025.2 改訂版

	女子フィジーク	ボディフィットネス	ビキニフィットネス	フィットネス
	生地の色・柄は自由	生地の色・素材・デザインは自由		
コスチューム	<p>JBBF 公認コスチューム JBBF タグ付き</p>  <p>モールドカップ・ワイヤー入りは不可。サイド部分の紐は一本のみとする</p> <p>全面ストーン装飾可 (2022 改定) 紐部分も装飾可 (2023 改定)</p> 	<p>全てのコネクター不可 (首・パンツ脇・胸紐)</p>  <p>ボトム縦幅はヘソから股間部の 45%以上 覆う</p> <p>臀部の 1/2 以上 覆い、お尻の割れ目が見えてはいけない</p> 	<p>コネクター・チェーン不可 (首・パンツ脇・胸紐) ひも部分は全て布製 (背面コネクター可)</p>  <p>ボトム縦幅はヘソから股間部の 40%以上 覆う</p> <p>臀部の 1/3 以上 覆い、お尻の割れ目が見えてはいけない</p> 	<p>※ピックアップ・決勝はビキニ・ハイヒール着用</p> <p>2023 年よりコスチューム規定はビキニフィットネスカテゴリーに準ずる (ボディフィットネスカテゴリーに準ずるから変更)</p> <p>※パフォーマンスラウンドは自由なコスチュームとシューズ着用 (裸足可)</p> <p>フィットモデル ※別紙参照</p> <p>ウェルネス</p> <p>ビキニフィットネスと同様であるが、ボトムは臀部の 1/2 以上 覆うこと</p>
	<p>*クロッチ (股) 部分は両脚の付け根まで完全に覆うこと (— 部分) *コスチュームの原型イメージを崩す装飾をしてはいけない (フリル・レース・リボン等) *当日のコスチュームチェックを受けた 2 着まで替えることができるが、決勝と表彰式は同じものを着用すること 【女子フィジーク公認コスチュームメーカー】 フィットビート アヴィオンアトリエ</p>			
アクセサリ	<p>※頭髪・身体ともにラメ入りのスプレー、ジェル、グリッター、ローション等の使用不可</p> <p>ピアス・イヤリングは頭の長さを超えないもの プレスレットは合計幅 2 cm 以内 (本数は問わない) ※ピックアップ・予選・決勝ともに装着可 (2022 改定) ※ネックレス・ヘモピアス・アンクレット・指輪は不可</p> <p>ピアス・プレスレット・指輪・ヘモピアスは本人のセンスにより自由 ※ネックレス・アンクレットは不可</p> <p>過度に大きなもの、目立ちすぎるものは、審査上のマイナス要因となる場合がある。(全カテゴリー共通) ※審査上、支障があるとみなされた場合には取り外していただく場合もあります</p>			
サンダル	<p>サンダル着用なし</p>  <p>・ヒールは 127mm 以下 (ビキニは 130mm 以下) ・厚みは 10mm 以下 (足先が乗る中央で計測) ・JBBF マークがあること ・ミュール可 (2022 改定) 【公認サンダルメーカー】 (株) ダイアナ</p>			

<追加>

頭髪・身体ともにラメ入りのスプレー、ジェル、グリッター、ローション等の使用不可

フィットモデルコスチュームについて

2025.2 改訂版

JBBF フィットモデル コスチューム

全身のラインがきれいに見える素材・装飾が望ましい

●ワンピース水着 (スイムスーツ)



●イブニングドレス 片側スリットでボディラインがわかるタイプ (スリットは左側が望ましい)



●サンダル

JBBF 公認サンダル・ミュール

●アクセサリ

ピアス・イヤリング
ブレスレット・指輪は自由
(ネックレス・アンクレットは不可)

<追加点>

首から肩にかけてのデザインはシンプルな形状を推奨します

バスト全体の約80%を覆うこと

ドレスの裾を指先等に紐などでつけてはいけない